

転入希望者の声

【森本議員】人口減少対策を推進するうえで、転入希望者の望む保育サービスを提供するというが、転入希望者のニーズはどうだったか。

【幼児学校教育課長】

きやらぼく保育園の状況から推測すると、この地区は通勤に便利で多くの需要があると思っ

将来の撤去費用

【門脇議員】将来、撤去する際にも費用はかかる。どのくらいかかるのか。

【幼児学校教育課長】

現段階では撤去の想定がなく、費用の積算はしていない。



きやらぼく保育園の未満児クラス

討論

人口減少対策になり、働きたい保護者のニーズにも合致する。

【反対…池田議員】設計図を見ると死角があるとか、出産する女性の対象年齢であるとか、提示された資料には疑問が残る。

移住者が増え続けるわけでもないなか、小規模保育所が必要なのか、また、子どもたちに将来の負担を強いることになるのではないか。

【賛成…野口昌議員】米子市へ通勤する保護者が多く、大山インターが近いこの地区の保育所は充実させる必要がある。

【賛成…西尾議員】国からの補助がある今だからこそ、保育所を整備し転入者の増加に備えておくべきだ。

【賛成…大森議員】将来的に無駄な施設になるかもしれない懸念は、転用が10年後には可能だということでも払拭された。

過密状態を解消し、質の高い保育を保证すべきと考える。

【賛成…米本議員】運営費も国の補助対象で、きやらぼく保育園の運営費と差し引きでは町負担が減る。

【反対…野口俊議員】3町合併の経緯のなかで保育所は削減・統廃合し、拠点保育所の定員規模を将来を見越して設計してきた。きやらぼく保育園の定員は180人で最大216人まで受け入れ可能だが、今年度は198人の入所だ。町内全体の入所希望者数は、4年後には100人も減る推計となっている。また、指定管理での運営にも賛成できない。

【賛成…門脇議員】子どもたちに対する教育・保育というのは、人生の基礎となる部分で、いわばその子らの将来への投資だ。

投資という負担が将来のツケとなっても、子どもたちのため、現状を改善する必要がある。

【反対…加藤議員】保護者アンケートでも明らかだが、保護者が町の保育に望んでいるのは、保育時間の延長や病児・病後児保育で、保育園の狭さなどではない。

質疑で、専有面積がどう変わるかや財政的なシミュレーションを聞いたが、明確に答弁はなかった。皆さんの計画と思わざるをえない。

【賛成…西山議員】子どもたちに最善の環境を整えることは、行政の使命だ。